

| Program |

～斎藤雅広＆三船優子のピアノ三昧ブリランテ!～

ラプソディ・イン・ブルー ガーシュイン
火祭りの踊り ファリヤ
スケルツォ第2番 作品31 ショパン
美しき青きドナウ シュトラウス
花のワルツ チャイコフスキイ
ハンガリア狂詩曲第2番 リスト

～休憩～

2台ピアノのための協奏曲 ブーランク
巡礼の年・第2年補遺「ベネチアとナボリ」 リスト
(第1曲 ゴンドラをこぐ女 第2曲 カンツォーネ 第3曲 タランテラ)
ダッタン人の踊り ポロディン

※曲目が変更になる場合もございますので御了承ください。

第176回

岩手県民会館
コンサート・サロン
2009

IWATE
KENMIN KAikan
CONCERT
SALON
2009

斎藤雅広 & 三船優子 ピアノデュオ ★ リサイタル



2009年

9月10日木

18:30開演

岩手県民会館 中ホール

入場料 一般: 5,000円
小中高生: 2,500円

※小中高生は岩手県民会館のみ発売

※団体(10名以上)の取扱いがあります(県民会館に問い合わせ)

■主催／岩手県文化振興事業団 IBC岩手放送

■後援／岩手県・岩手県教育委員会・盛岡市・盛岡市教育委員会・岩手県芸術文化協会・岩手日報社

■プレイガイド／<盛岡市>県民会館・アネックスカワトク・大通佐々木電気・カワトク・ジョイスみたけ店・フェザン・プラザおでつて・盛岡市民文化ホール・いわて生協(県内各店)

■お問い合わせ／県民会館事業課 〒020-0023 盛岡市内丸13番1号 TEL 019-624-1173 FAX 019-625-3595 <http://www.echna.ne.jp/~iwakenmin/>

IBC岩手放送事業部 〒020-8566 盛岡市志家町6番1号 TEL 019-623-3137 FAX 019-629-2652 <http://www.ibc.co.jp/>

©武藤章



ほりおこそう
心の豊かさ
伝えよう未来へ
岩手の文化

Profile

プロフィール

斎藤 雅広 ピアノ Masahiro SAITO, Piano

東京藝術大学出身。チェルニー=ステファンスカに才能を認められ内弟子として学ぶ。18歳で第46回日本音楽コンクールに優勝し翌年NHK交響楽団との共演でデビュー、「芸大のホロヴィツ」と称され「誰より以上というのではない絶対的なうまさ」(音友)と絶賛され華麗なヴィルトゥオーゾとして活躍、安宅賞・霧島国際音楽賞受賞。また国内主要オーケストラの他に韓国KBS響、ミュンヘンプロアルテ室内管、ワيمアル歌劇場管弦楽団等と共に、ウクライナの国際音楽祭やイギリスにも招かれ海外でも高く評価された。NHK名曲アルバム、ベストオブクラシック、ニューイヤーオペラコンサート、トウトゥアンサンブルの「キーボーズ」、趣味悠々の講師等、多数のTV出演で圧倒的な人気を集め。ワインフィルやベルリンフィルからも信頼が厚く、室内楽や歌曲伴奏でも我が国最高の名手という評価を不動のものにし、現在最も多忙なピアニストとして縦横無尽な活動を展開。



CDはワーナーの「ヴィルトゥオーゾ展覧会の絵」が「レコード芸術」で特選盤に選ばれた他、「マイ・ロマンス」「アラウンド・ザ・ワールド」、「至芸といふほかない」(レコ芸)と激賞されたトコディとの共演盤、巨匠リヒテルにも並び賞された室内楽もの等々、CDリリースの度に大きな話題となり「名手の名に恥じぬ／世界的なレヴェルから見てもトップクラス」と評されている。

人間味あふれる渋みとエネルギーッシュな二面性を示し円熟を深める巨匠でありながら、超一流的の話術を交えた究極のエンターテインメントなコンサートは他の追随をまったく許さない。今、日本で最も広いファン層と知名度を持つベテラン大物アーティストとしてマルチな活動を展開中である。



©武藤章

三船 優子 ピアノ Yuko MIFUNE, Piano

幼少の頃からニューヨークに育ち、ジェローム・ローエンタール氏に師事。帰国後、井口秋子、奥村洋子、安川加寿子の各氏に師事する。

1988年桐朋学園大学在学中、第57回日本音楽コンクール第1位。翌年同大学を首席で卒業。その後国内各地で活動開始。

1990年には文化庁の派遣でジュリアード音楽院に留学、マーティン・キャニン氏に師事、室内楽をサミュエル・サンダース氏に師事。1991年にロス・アンジェルスにてアメリカデビューを果たし、L.A.Timesにて絶賛を受ける。同年10月、フリーナ・アーヴィング国際ピアノコンクールで優勝。カーネギーホール、リンカーンセンターなどでリサイタルを行い、ラジオ局WQXRにて全米放送される。1992年5月、ジュリアード・ソリストオーディションに優勝。同年9月帰国し、本格的に日本での演奏活動を再開、リサイタルはもとより、国内外の主要オーケストラとも共演を重ねる。

1996年にはモスクワ交響楽団とモスクワ及び日本ツアーに同行。翌年サンクトペテルブルグ交響楽団ともツアーにて共演。

2001年には韓国にてソウル国際音楽祭に出演、2007年夏にはニュージーランド・ツアーも成功させる。これまでに、「リスト・巡礼の年 第2年イタリア」、「メフィストワルツ」、「ラプソディー・イン・ブルー」(BMGファンハウス)、「ウイングド」(キングレコード)をリリース、いずれも好評を博す。

1995年より5年間に亘りFM横浜のパーソナリティーを務め、リスナーに高い人気を集めた。

また2003年4月から6年に亘りNHK-BS2「週刊ブックレビュー」の司会としても活躍。

既存の枠に収まらない、音色の美しさとスケールの大きな力強い演奏でつねに聴衆を虜にし、古典から現代音楽に至るそのレパートリーの幅広さにも定評がある。